

みずほCustomer Desk Report 2023/04/12 号 (As of 2023/04/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	133.48 AUD/USD
TKY 9:00AM	133.48	1.0869	144.97	1.2394	0.6648
SYD-NY High	133.81	1.0928	145.96	1.2456	0.6680
SYD-NY Low	132.97	1.0862	144.93	1.2388	0.6640
NY 5:00 PM	133.71	1.0914	145.95	1.2427	0.6654

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,684.79	98.27	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	12,031.88	▲ 52.48	日本10年債	0.4500%	▲0.0100%
S&P	4,108.94	▲ 0.17	米国2年債	4.0308%	0.0221%
日経平均	27,923.37	289.71	米国5年債	3.5341%	0.0155%
TOPIX	1,991.85	15.32	米国10年債	3.4309%	0.0168%
シカゴ日経先物	28,085.00	165.00	独10年債	2.2990%	0.1215%
ロンドンFT	7,785.72	44.16	英10年債	3.5360%	0.1090%
DAX	15,655.17	57.28	豪10年債	3.2250%	0.0170%
ハンセン指数	20,485.24	154.04	USDJPY 1M Vol	12.10%	▲0.77%
上海総合	3,313.57	▲ 1.79	USDJPY 3M Vol	11.22%	▲0.39%
NY金	2,019.00	15.20	USDJPY 6M Vol	10.90%	▲0.27%
WTI	81.53	1.79	USDJPY 1M 25RR	▲1.58%	Yen Call Over
CRB指数	274.73	3.04	EURJPY 3M Vol	10.84%	▲0.49%
ドルインデックス	102.20	▲ 0.37	EURJPY 6M Vol	10.81%	▲0.32%

東京	東京時間のドル円は133.48レベルでオープン。利食いのフロー等から133.25近辺まで下落する局面も見られたが、仲値にかけてはドル買い優勢となり、一時133.68まで上昇。その後は、米金利低下に追随する形で下落圧力がかかる一方、10日に植田日銀新総裁が金融緩和策継続を示唆したことから下値は限定的となり、133円台前半から半ば近辺でもみ合い。133.36レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.36レベルでオープン。イースター休暇明けの欧州市場は、前日のドル円上昇からじりじりと売られる展開。133円ちょうどを挟んでもみ合う展開が続くが、結局133.25レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台半ばでスタート。アジア時間では利益確定の売りや、実需の買いなど売り買いが交錯し、133.50付近を挟んだ推移。欧州時間に入ると円買いが強まったことから133円台ちょうど付近まで下落し、その後小幅反発して133.25レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇とダウ平均指数の堅調推移を受け、円売り優勢となり、133.76まで上昇。午後にはグールズビー・シカゴ連銀総裁の利上げに対するハ派色の強い発言を嫌気して、売られる場面も見られたが、その後再び買い戻され133.80付近で揉み合いに。明日の米3月CPI発表を控え様子見姿勢が強くなり、結局133.71レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。独金利上昇に伴い、欧州通貨が買われる展開となり、ユーロドルは1.0920台まで底堅く推移し、その後小幅反落し1.0905レベルでNYオープン。オープン直後は1.0927まで買われるも、その後市場がドル買いに転じた事が重しとなり、1.0897まで反落。その後は再び買い戻され1.0920台付近で伸び悩み、結局1.0914レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・木村

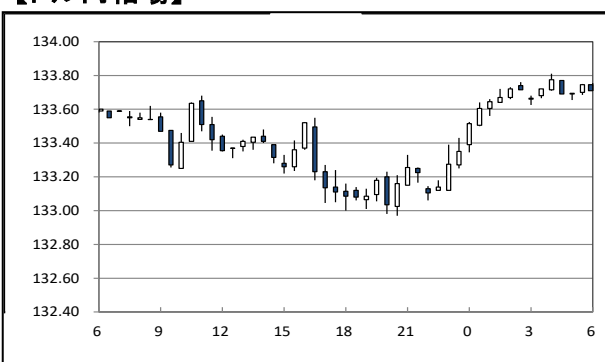
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月11日	10:30	中	CPI(前年比)	3月 0.7%
	11:30	中	PPI(前年比)	4月 -2.5%
	18:00	欧	小売売上高(前月比)	2月 -0.8%
4月12日	02:30	米	グールズビー・シカゴ連銀総裁講演	詳細なデータを集め、慎重に金融引き締めを続ける必要がある

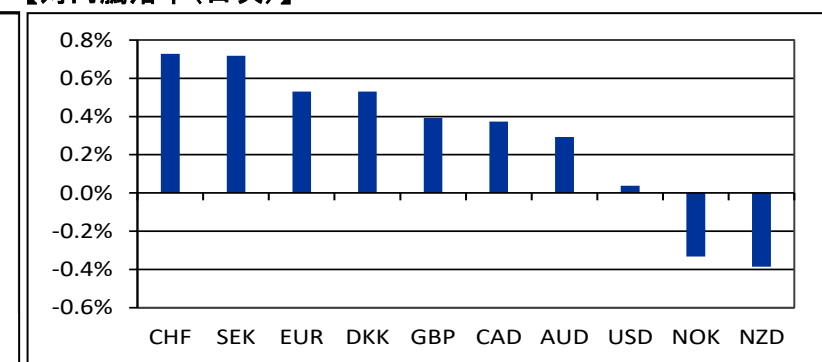
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月12日	08:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	3月 0.2%/5.1%
	22:00	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-
4月13日	01:00	米	デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.00-135.00	1.0850-1.1000	144.80-147.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は133.48レベルでオープン。実需のフローや米金利の低下による下押し圧力から、仲値付近の上昇後は上値重く推移。海外時間入り後には、133円を割れる場面があるも、その水準ではしっかり買いが入り盛り返すと、その後は米金利の上昇や株式市場の堅調推移もあり円売りが優勢。一時131.81まで上昇後、流れが一服すると、翌日に米3月CPIを控える中方向感を欠き、131.71レベルでクローズした。

本日の値動きは米3月CPIの結果次第。そこまでは様子見ムードも強まり方向感のない展開か。今後のFRBの引き締め姿勢を見通すうえで重要な指標であり、インフレの鈍化がみられるかどうか、またコアCPIで大きなウェイトを占める、前回高い伸びを示した住宅関連の数値に特に注目しておきたい。